常盤の翠

志・寛・錬

発 行
令和2年7月31日
鹿児島市立伊敷中学校

今やる勇気 今やらない後悔

校長　河瀬 雅之

コロナに始まりコロナに翻弄された一学期が、例年よりも10日遅れとなった今日終わる。パンデミックの中での練習とは、マスクを着用し、距離をとっての大きなハンデがあったが、思いのこもった素晴らしい歌声を披露してくれた。その感動を言葉では当時の県教育庁義務教育課の山本課長から、その夜メールをいただいたので、一部紹介したいと思う。

「私は大阪出身ですが、私の中学時代にも、合唱コンクールは中学校の男子生徒が歌う姿を見ていると、自分が恥ずかしくなりました。」

今年の梅雨は、県内各地で大雨の被害が出た。特に隣県南部では、球磨川が複数箇所で堤防決壊し、その被害が連日全国ニュースで報道された。決壊箇所から川の水が氾濫していく様子が一気に広がる様子とがイルスターからウクラスタ重なって見えたのは、私だけだろうか。

氾濫した水を防ぐことは難しいが、安全な場所に避難し、自分の身を守ることはできる。この夏休みも一人一人の身を守る行動で、安全に過ごしてほしいと願う。

コロナ禍で実施が心配されたこの行事を通して、子供達だけではなく、学校職員も含め、チーム伊敷中の結束が強まっていくのを頼もしく感じた。子供達は、今しかできないことを理解していかなければ、学生に戻れるなら、こうした集団だと感じました。

この行事を通して、子供達は、今しかできないことを理解していかなければ、学生に戻れるなら、こうした集団だと感じました。

音楽コンクールは、市教委の協力も得ながら、無事に終えることができた。通常とは大きく異なる実施形態となったが、無観客での実施となったことは、保護者の皆様の理解あっての開催だったと感謝している。計画段階から何度も相談に乗ってくださったPTA役員の皆様、地域の皆様にも、一言この場を借りて感謝申し上げたい。

「大切なものに気付かない僕がいた」（２年３組の自由曲）、ということです。今思えば、“本当の意味でダサかった”の真面目に歌わなかった自分たちの方だろう。

「歌声もすごかったが、聴く態度や移動時の動きにも感銘を受けました。言葉が適切かどうか分からないが、『フェアな精神』をもった集団だと感じました。伊敷中学校の生徒は、今しかできないことを理解して夏休みを過ごす生徒であってほしい。

密を避けた音楽コンクールとなりました。

正に、「大切なものに気付かない僕がいた」（２年３組の自由曲）、ということです。今思えば、“本当の意味でダサかった”の真面目に歌わなかった自分たちの方だろう。

「歌声もすごかったが、聴く態度や移動時の動きにも感銘を受けました。言葉が適切かどうか分からないが、『フェアな精神』をもった集団だと感じました。伊敷中学校の生徒は、今しかできないことを理解して、『羨ましいな』と感じる。

そして最後は、生徒の皆様のご理解あっての開催だったと感謝しています。

山本課長は、文部科学省に向けて出されている今年度の学力調査の角度から見た伊敷中学校の姿を見ていたのは、ちょうど3年目、鹿児島県の学力向上のための方策を考えるとき、強い思いを持った学生たちが、高校に通いたいと思いました。

「生徒の皆様の瑞々しい歌声に、胸を撃たれ続けることが、受け身のような評価をいただいたことを皆様に感じる。

9月 主な行事予定

１日　２学期始業式
２日　第１回共通実力テスト(３年)
　　１・２年夏休み明けテスト
８日　教育実習開始
１２日　生徒会立会演説会
１６日　食に感謝する日体育大会予行
２０日　第７４回体育大会

※新型コロナウイルス感染症対策のため，行事等を変更する可能性があります。変更があった際は，その都度連絡をいたします。

お知らせ

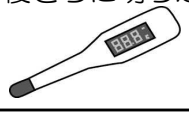
本日，教頭先生が編集・作成した校内音楽コンクールのＤＶＤを生徒に配布しました。ＤＶＤは，容量の関係上，当該学年の合唱のみを記録しておりますが，１年生のＤＶＤには３年最優秀賞３組の合唱も入れてあります。
ご家庭で子ども達の素晴らしい姿を御覧ください。

＜１学期の出席の取扱いについて＞

出席停止等の取扱いについては、学校の状況等もみながら校長が判断することとされています。今学期の出席については、コロナウイルスについて不明な点も多い中、感染拡大を食い止める観点から、発熱や、感染者との接触等不安があった場合には、登校を見合わせるようお願いしてまいりました。

そこで今学期、上記の理由で学校を欠席せざるを得なかった場合には「欠席」ではなく、「出席停止」扱いとさせていただきましたのでお知らせします。

コロナウイルスの性質については、今後さらに明らかになると思いますので、２学期以降の出席の取扱いについては、本県の感染状況等もみながら判断してまいります。



２学期の主な教育活動について

明日からちょうど１か月間の夏休みに入りますが、夏休みが明けますと、一番行事の多い２学期を迎えます。今のコロナウイルスの感染状況が少しでも落ち着くことを祈るばかりですが、このような状況下で２学期の学校行事をどのように迎えるのか、学校でもいろいろ対策を練っているところです。学校の基本的な考えは、「対策を講じた上で、国が示すレベルに応じ実施可能な開催を工夫する」「レベルの変化をぎりぎりまで見極めながら安全を優先し、たとえ当日であっても計画を見直す」です。そのような基本的な考えのもと、主な行事の現時点での対応案についてお知らせします。

体育大会：様々な感染防止対策を考えておりますが、保護者の皆様へのお願いとして、「昼食時の密を避けるため、**学校外（自宅等）で昼食**をとっていただく（生徒は教室で弁当）」「参観時には、保護者テントをお子さんが出場される時間帯だけ**譲り合いながら利用**してもらう（**場所取りはしない**）」などを考えています。参観者数の制限等については検討中です。

教育実習：**実習期間の短縮**（３週間→２週間）、**実習者の分散**（可能な限り期日を振り分ける）、３密を避ける工夫を行うとともに大学からは学生に
①　実習前の２週間および実習後２週間の**県外への移動をしない**。
②　実習中および実習前２週間の各自の**行動には自覚と責任**を持つ。
などを教育実習参加の条件とすることを指導してもらいました。**２週間以内に県外で採用試験等を受験した者も本校の実習には参加させません**。

修学旅行：旅行業者と綿密に連絡を取り合いながら現在のところ、計画を大きく変えない実施を考えていますが、感染拡大の情報もある事から、**代替案も含め検討中**です。今後11月段階で実施できることについて業者と詰めてまいります。（市内にはすでに県内１泊に変更した学校もあります。）

あくまでも現時点での考えですので状況が変われば、大きく計画を見直す場合もあります。時期が近づきましたら、再度、詳細な説明の文書をお示しいたします。